可能性を開く

従来の慣習や業界の枠にとらわれ、発展の可能性を制限してしまっていないだろうか。自社にとっては当然の経営資源も、他社との出会い一つで魅力を放つことがある。共創は中小企業が飛躍するための切り札だ。 取材・文 稲泉 連

いないずみ・れん 1979年東京都生まれ。ノンフィクションライター。早稲田大学第二文学部卒業。『ぼくもいくさに征くのだけれど一竹内浩三の詩と死』(中央公論新社)で第36回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。近著に『サーカスの子』(講談社)がある。



9 理念と経営 12/2025 理念と経営 12/2025